【昭和編】

1969 昭和44年 ～ 1988 昭和63年

P03 P22

1969

昭和44年

世界の出来事

- ソ連宇宙船、史上初の有人宇宙ドッキング
- 中ソ国境紛争(ダマンスキー島事件)
- 米アポロ11号が人類初の月面有人着陸

国内の出来事

- 東大紛争・安田講堂攻防戦
- 東名高速道路が全線開通
- 佐藤・ニクソン共同声明(昭和47年の沖縄返還を表明)

'69/8 ～ '69/12　　1989（平成元年）　　50th

「鹿島」を頂点とする地域開発の進展と首都圏の拡大の中で設立された当センターの初代理事長・市田禎藏(ていぞう)は、発刊挨拶の中で「本県経済の発展に関する広範な意見の結集と調査研究の成果発表を行ない、各位のご参考に供する次第であります」と述べている。

8月号グラビア　写真ルポ　ベッドタウン取手町井野団地

創刊当時はまだグラビア企画は無く、写真(写真ルポ)頁を設けて調査・特集に対応する形で写真を掲載していた。1969年は取手町井野団地・県内商業卸団地(下館・水戸)・鹿島開発・6号国道周辺・県内工業団地を採り上げた。

茨城県内の出来事

トピックス	鹿島港の開港記念式が行われる

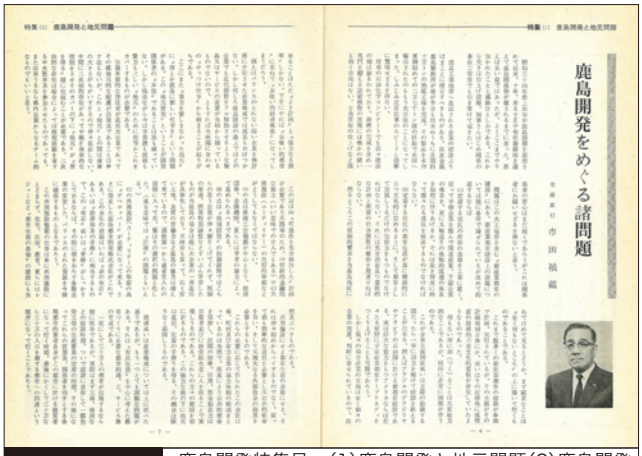
- 福島県のホテル(磐光ホテル)火災で日立市の宿泊客17人焼死
- 茨大学館共闘会議、学生会館封鎖、茨大闘争始まる
- 猿島町で竜巻発生、死者2人・負傷者107人
- 水戸偕楽園の好文亭に落雷、奥御殿全焼
- 竜ケ崎飛行場、民間飛行場として営業開始
- 常磐線上野ー平間に特急ひたち運転開始
- 筑波研究学園都市総合起工式

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- **8月号**　【創刊】ベッドタウン取手町井野団地/変貌する東総の町々
- **9月号**　期待される県内商業卸団地(下館・水戸)/デパート戦争の主戦場(埼玉県・大宮市)
- **10月号**　鹿島開発特集号 (1)鹿島開発と地元問題 (2)鹿島開発の現況と影響 (3)歴史との対話
- **11月号**　県北畜産の現況と今後の課題/水戸市小売業の今後の方向ー大型店進出に関連してー
- **12月号**　県内の工業団地(主要工業団地の現況と課題)

Pick up



10月号調査　鹿島開発特集号　(1)鹿島開発と地元問題(2)鹿島開発の現況と影響(3)歴史との対話

鹿島開発を筆頭とする地域開発の流れの中で8月に創刊された月刊機関誌「ニュー茨城」だが、10月号で鹿島開発に関する初の大規模特集を実施。特集(1)(3)で計6氏からの寄稿、特集(2)では計46頁もの自主調査を掲載した他、「展望」(巻頭掲載)として茨城県知事、「視角」として計7氏からの寄稿、「資料解説」として鹿島町広域商業診断報告概要を掲載した。

1970

昭和45年

世界の出来事

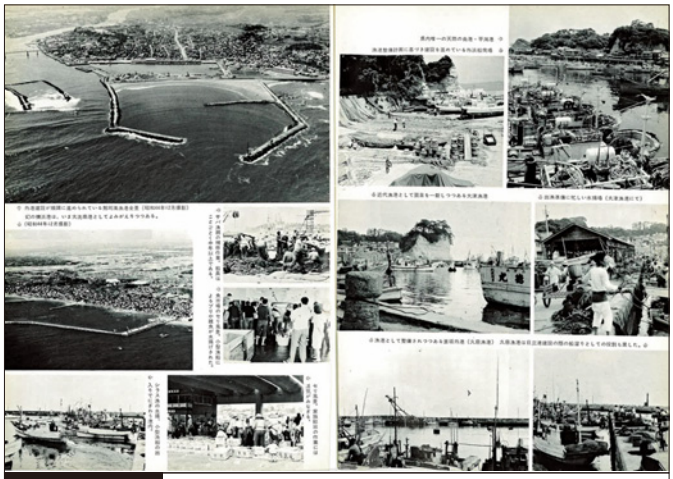
- 核拡散防止条約が発効
- ビートルズが解散
- 植村直己、世界初の五大陸最高峰登頂者に

国内の出来事

- 日本万国博覧会(大阪万博)
- 日本航空機よど号ハイジャック事件
- 三島事件(三島由紀夫が自衛隊市ヶ谷駐屯地で割腹自殺)

'70/1 ～ '70/12　　1989（平成元年）　　50th

鹿島開発から一旦離れ、県内の商業を巡る動きを取り上げる調査が目立った。1月号・10月号で座談会、7月号でパネルディスカッションを開き、外部の方々を交えた議論を通じて今後の県勢発展・県内商業の方向性を見出していこうという取り組みも見られた。



6月号グラビア　茨城の港

当時の重要港湾である日立港・鹿島港のみならず、県内主要漁港(平潟港・大津漁港・久慈漁港・那珂湊港・磯浜港・波崎港)を、そこで働く人々の姿と共に捉えている。

茨城県内の出来事

トピックス	鹿島臨海鉄道運転開始

- 水戸鉄道管理局管内で蒸気機関車使用を廃止
- 那珂湊市当局、職員数人の昇給ストップ那珂湊闘争始まる
- 水戸市の大串貝塚、国指定史跡に指定
- 水郡線合理化案、12駅無人化
- 国鉄鹿島線香取ー北鹿島駅間で営業運転開始
- 水戸市の中央ビル火災で2人死亡

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　座談会「茨城の発展方向を探る」
- 2-3月号　(2-3月号合併号)　水戸駅南開発の現状と課題/再開発進む江戸崎町商店街/変貌する土浦市小売業
- 4月号　北総地域開発の現況/新段階を迎えた筑波研究学園都市建設
- 5月号　期待される浪逆ニュータウン建設/国道51号線に沿って
- 6月号　茨城の港/商戦激化する日立市
- 7月号　特集・専門店セミナー(計5セミナーの講演要旨/パネルディスカッション)
- 8月号　大型店の戦略と地元商店/建設進む田園調布/常磐自動車道の起点ー埼玉県三郷町
- 9月号　茨城県内主要企業経営動向調査結果について(45年第1四半期)
- 10月号　特集・鹿島新都市と第3次産業
- 11月号　特集・商店街再開発セミナー(計6セミナーの講演要旨)
- 12月号　ボーナスアンケート調査にみる最近の消費動向/水戸市通行量調査報告

Pick up

2ー3月号合併号調査　水戸駅南開発の現状と課題

県都水戸市の中心部が今の姿になるにあたり欠かせなかった「水戸都市計画駅南土地区画整理事業」。昭和43年度までに終了する予定であったところ、調査時点の進捗率は事業費ベースで約50%に留まっていた。調査では事業の現況と課題を詳細に見た上で、駅南口の開設や市役所等公共施設の移転のみならず商業・文化・娯楽施設等の計画的誘致も必要である旨を指摘した。

1971

昭和46年

世界の出来事

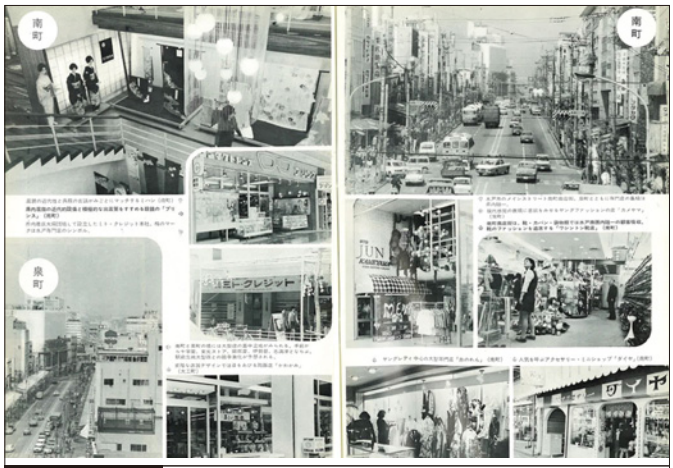
- ニクソン・ショック（ニクソン訪中宣言）
- ドル・ショック（金と米ドルの交換停止）
- 中華人民共和国が国連加盟

国内の出来事

- 沖縄返還協定調印
- 日本マクドナルド1号店開業（東京・銀座三越内）
- 全日空機雫石衝突事故

'71/1 ～ '71/12　　1989（平成元年）　　50th

鹿島開発を筆頭とする大型地域開発そのものから、大型地域開発が地元及び周辺の地域社会や県内商業活動等に及ぼす影響に視野を広げた調査が多く行われた。また9月号では、常磐自動車道に関する初の特集が組まれた。



5月号グラビア	水戸市商業（ビッグストア進出と、真価を問われる既存専門店）

世はニクソン・ショック、ドル・ショックと、政治的・経済的に不透明感を増す方向に進む中、水戸市商業は大型店の相次ぐ進出と、それを迎え撃つ既存専門店の構図。今は衰退著しい水戸駅北口商業集積がまだ活況を呈していた時代。

茨城県内の出来事

トピックス	那珂湊市長リコール成立

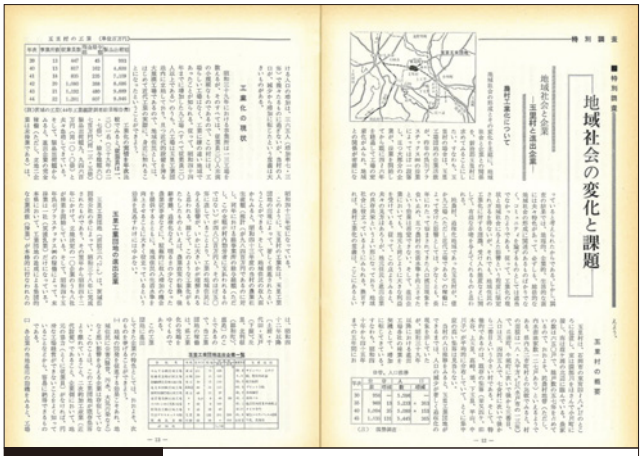
- 米軍、1月1日より水戸射爆撃場演習停止
- 那珂湊市役所紛争で市長がガードマンを職員に採用、問題化
- 那珂湊市長リコール運動始まる
- 茨交茨鉄線赤塚ー茨大間廃止
- 岩上知事4選
- 那珂湊市長選で反市長派の薄井三郎当選

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　特集　（1）わが郷土の開発と発展方向
  （2）本県地域開発の現況と今後の方向
- 2-3月号　（2-3月号合併号）
  茨城県内商圏形成の現況/ニュータウンめぐり
- 3月号　臨時増刊　茨城県経済概要ー1971ー
- 4月号　茨城県主要企業経営動向調査（45年第3四半期）/
  本県における養豚契約生産の実態
- 5月号　茨城県内小売業の現況/
  ビッグストア進出本番、近代化すすむ水戸市専門店
- 6月号　46年夏季ボーナスの消費動向予測/
  水戸市内高校卒業者の就職実態
- 7月号　県内主要企業経営動向調査（46年第1四半期）
- 8月号　特別調査・地域社会の変化と課題
- 9月号　特集・常磐自動車道
  常磐自動車道の建設概要/寄稿（計3氏）
- 10月号　特集・鹿島開発と地元参加
- 11月号　特集・多様化する経営戦略
- 12月号　特集・最近の茨城県内景気動向

Pick up



8月号調査	特別調査・地域社会の変化と課題

農村工業化に伴う地域社会の変貌（玉里村）、公団団地におけるコミュニティ形成や人間関係（取手市井野団地）、農山村地域におけるコミュニティ問題（過疎化＝都市への人口流出＝の進行と集落存在意義の希薄化）、下館広域市町村圏の現況と対応（地域経済格差是正目的での圏域指定）等、工業化・都市化の影響を受けている側の観点から調査し検討を加えた。

1972

昭和47年

世界の出来事

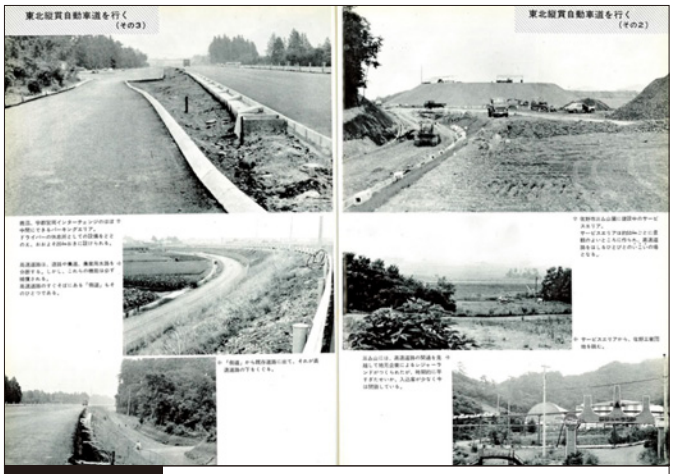
- ニクソン大統領訪中(米大統領として初)
- 日中国交正常化(田中首相訪中)
- ウォーターゲート事件(～1974年)

国内の出来事

- 第11回冬季五輪札幌大会
- 連合赤軍浅間山荘事件
- 沖縄復帰、沖縄県発足

'72/1 ～ '72/12　　1989（平成元年）　　50th

水戸・日立広域都市構想を前提に、1月号と12月号で広域都市特集を組んだ他、6月号では筑波研究学園都市特集を組む等、地方における大型都市（圏）を意識した調査に取り組んだ。併せて、商業・農業問題にも検討を加えた。



8月号グラビア　東北縦貫自動車道を行く

調査内容と連動し、常磐道に先立ち開通間近の東北自動車道建設現場を写真で紹介。この年は他号でも同様に、県外の事例を多数の写真で紹介する取り組みが多く見られた(1･10･11･12月号)。

茨城県内の出来事

トピックス　鹿島港に25万トンタンカー初入港

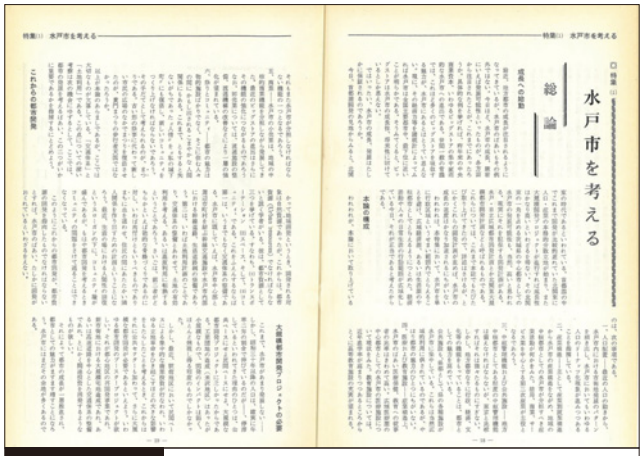
- 鹿島港で鉱石運搬船協照丸爆沈、死者12人
- 常陸利根川逆水門閉鎖で養殖シジミ全滅、天然シジミも全滅状態
- 原研東海事業所の原子炉建屋火災
- ミュンヘン五輪柔道中量級で関根忍(大洗町出身)金メダル
- 県原子力審議会、東海第2原発設置同意答申
- 東海村村議会、東海第2原発の設置に同意

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- **1月号**　広域都市特集号　(1)水戸市を考える　(2)静岡･清水広域都市を視察して
- **2月号**　特集･商店新戦略セミナー(計5セミナーの講演要旨)
- **3月号**　茨城県内主要企業の経営動向調査結果(46年第3四半期)
- **4月号**　特集･茨城県経済の概要
- **5月号**　試練期を迎えた日立市商業
- **6月号**　筑波研究学園都市特集号
- **7月号**　茨城県内主要企業の経営･設備動向調査
- **8月号**　霞ヶ浦周辺地区の動向/常磐自動車道の建設と開通間近の東北縦貫自動車道
- **9月号**　県西(北部)地域の現況と今後の発展動向/水戸市中心商店街通行量調査(第3回)
- **10月号**　商業問題特集号　商業激戦地にみる地元商店の対応
- **11月号**　農業問題特集号
- **12月号**　特集･広域都市づくりをすすめる－前橋･高崎を視察して－

Pick up



1月号調査　広域都市特集号　(1)水戸市を考える、他

昭和46～47年度の調査活動の一環として水戸･日立広域都市開発問題を採り上げ、その研究を進めるために水戸･日立広域都市研究会を組織し取り組んだ(メンバーは茨城大学･茨城県･水戸市･勝田市･茨城新聞社･水戸青年会議所･当センター)。県外事例として、静岡･清水広域都市(静岡県)及び前橋･高崎地区(群馬県)を視察し報告を取りまとめた。

1973

昭和48年

世界の出来事

- ベトナム和平協定調印
- 東西ドイツが国際連合に加盟
- 第4次中東戦争

国内の出来事

- 円変動相場制に移行
- 第1次石油危機
- 現在のつくば市に筑波大学が開学

'73/1 ～ '73/12　　1989（平成元年）　　50th

48年度の主要活動テーマは、県内を4つの地域に分けて、40年代の変化を分析し、それぞれの地域の課題を捉えてみようというもの。研究員を1～2名ずつ4班に分けて取り組み、その作業の中間結果というべき内容を創刊50号である9月号に掲載した。

8月号グラビア　激戦下の商店街

県内商業環境の激変（大型店進出、地区中心都市への購買力集中等）を踏まえ、当センターは6月に「小売システム研究会」を組織。49年にかけて、商店街活動を中心とした発展方策の研究に取り組むこととした。

茨城県内の出来事

トピックス	高萩炭礦櫛形礦業所閉山し、常磐炭田終息する

- 七会村塩子地区で玄米から高濃度のカドミウム検出、以後日立市・多賀町・十王町でもカドミウム汚染
- 水戸射爆撃場正式返還
- 鹿島町議会、成田空港へのジェット燃料輸送反対決議
- 勝田市虎塚古墳で装飾壁画発見
- ダイエー水戸店オープン
- 鹿島臨海工業地帯の旭電化工業鹿島工場で爆発事故、6人死傷

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- **1月号**　県南地域における宅地開発の現況/宅地開発事業の適正化について
- **2月号**　コンビニエンス・ストア特集号
- **3月号**　茨城の開発－その成果と今後の課題－
- **4月号**　特集－茨城県経済の概要 首都圏と茨城県/茨城県経済の概況/地域開発
- **5月号**　変貌する県内商業 －大型店進出第一ラウンドの変化実態－
- **6月号**　特集・筑波研究学園都市
- **7月号**　急速に普及する週休2日制/引締め下における県内企業の経営動向をさぐる
- **8月号**　都市間競争激化に対応する商店街/水戸市中心商店街通行量調査（第4回）
- **9-10月号**　（9-10月号合併号）〈創刊50号記念〉特集・40年代における地域の発展と変貌
- **11月号**　「茨城県消費者行動調査結果」の概要
- **12月号**　茨城県内高校生の職業意識を探る

Pick up

9月号調査　40年代における地域の発展と変貌

創刊50号を記念して、地域を見直し、地域の課題を考える特集として企画。県内を県北・鹿行・県南・県西の4地域に分け、地域毎に1～2名の担当者を割り当てた。年度を通しての取り組みの中間結果というべき位置づけであり、本調査だけで計68頁に及ぶ大作。各地域の発展変貌の実態と特性の把握が、主な作業内容となった。

1974

昭和49年

世界の出来事

- インドが初の地下核実験実施
- ウォーターゲート事件(1972年～)
- フォード米大統領来日(現職として初)

国内の出来事

- セブン-イレブン1号店開店(東京・江東区)
- 原子力船むつ、放射能漏れ事故
- 三菱重工ビル爆破事件

'74/1 ～ '74/12　　1989（平成元年）　　50th

1973年に発生した第1次石油危機とその後続く不況を受け、不況下の企業経営動向・消費動向等に関する調査を計4回実施。また、4月号は創立5周年記念号として、県内産業構造の変化と地域経済について、調査と寄稿により詳しく検討した。

8月号グラビア　新しい流通サービス機能への挑戦

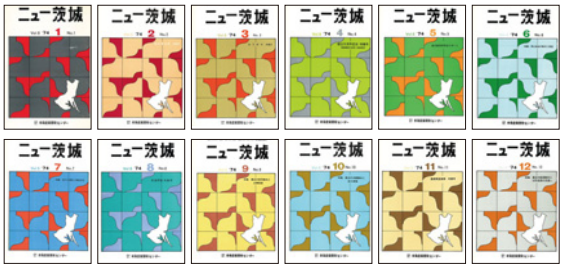
大型店進出・都市間競合及び商店街間競合の激化等の中にあって、地元小売業もネットワーク拡大・デパート化・地元店主が結集したショッピングセンターづくり等で対応。主要事業者の動きを写真・図面等も用いて詳しく検討した。

茨城県内の出来事

トピックス	国民体育大会茨城大会が開催される

- 坂本玉造町長ら高浜入干拓の着工を知事に要望
- 機動隊厳戒の中、高浜入干拓事業の準備工事着工
- 筑波大学開校、初代学長三輪知雄
- 全国中学サッカー大会で古河一中優勝
- 県立歴史館開館
- 茨城県産業会館建設へ設立総会開く
- 岩上知事、5選不出馬を表明

この年の表紙一覧



各号の調査テーマ

- 1月号　総需要抑制下の企業経営
- 2月号　商店街振興特集号
中小都市商業の振興方向について
- 3月号　地方都市特集号
論説(4氏)/地方都市論～地方都市への期待～
- 4月号　創立5周年記念特集号
特集・産業構造の変革と地域経済
- 5月号　特集・地方都市研究会報告
- 6月号　特集・座談会県北地域の動向と展望
- 7月号　特集・原子力開発と地域社会
- 8月号　流通問題特集号
(1)茨城県の卸売構造(2)最近の県内小売業の動向
- 9月号　景気調整下の企業経営動向/
水戸市中心商店街通行量調査
- 10月号　最近の県内消費動向の変化
- 11月号　農業関連産業特集号
食生活需要と農業関連産業の動向
- 12月号　不況長期化と地域企業経営動向

Pick up

3月号調査　地方都市論～地方都市への期待～

当センターでは前年に「地方都市研究会」を設置し、具体的に茨城県という地域に即して考えてみた場合、これからの県内の都市の発展或いは再開発をどのように捉えて具体的施策を考えていかなければならないか、ということをテーマに取り組んできた。その成果は本3月号調査の他、研究会報告として取りまとめ5月号で特集として掲載した。

1975

昭和50年

世界の出来事

- サイゴン陥落、ベトナム戦争終結
- 英女王夫妻訪日(国家元首として初)
- 昭和天皇・皇后両陛下訪米(史上初)

国内の出来事

- 新幹線「ひかり」、東京〜博多間の直通運転開始
- 沖縄国際海洋博覧会
- 国鉄による蒸気機関車運用が終焉

'75/1 〜 '75/12　　1989（平成元年）　　50th

不況が長引く中、その影響を強く受ける県内商業（卸売・小売）の状況把握や今後の方向性に関する調査を計4回実施。また10-11月号では、県内92市町村勢一覧を含む計153頁もの特集を組み、昭和40年代の茨城県経済の変貌を概観した。

1月号グラビア	結城紬	2月号グラビア	シミコン(凍蒟)

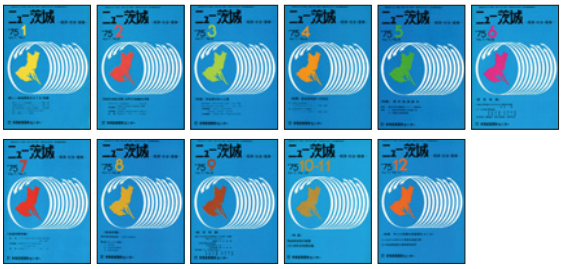
見開きで数頁にわたる(用紙も他の部分とは異なる)写真頁は無くなり、代わって各号冒頭に、毎号1頁で県内特産物に関わる人の姿を写し紹介する「ふるさとの顔」企画が通年で掲載された。

茨城県内の出来事

トピックス	県知事選挙、竹内藤男初当選

- 新治村ゴルフ場汚職　村長、収賄で逮捕
- 鹿島町、神栖町、潮来町の住民、成田新空港ジェット燃料輸送反対鹿行地区総決起集会開催
- 県知事選挙投票率38.65%　全国最低を記録
- 水戸市の京成志満津、水戸京成百貨店と改名
- 水戸市に大手スーパー「ジャスコ」オープン
- 神栖町議会、成田空港へのジェット燃料輸送賛成決議

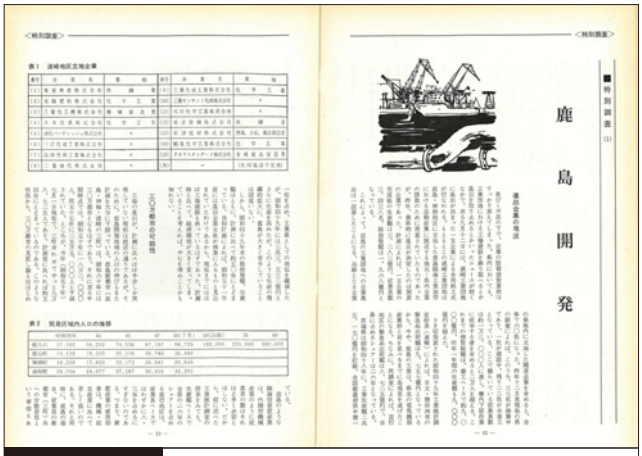
この年の表紙一覧



各号の調査テーマ

- **1月号**　特集・新しい地域開発をさぐる
- **2月号**　県内卸売業経営実態調査の概要/茨城の商圏
〜第3回茨城県広域消費動向調査結果〜
- **3月号**　転換期に直面する地域企業経営動向
〜茨城県内主要企業経営動向調査〜
- **4月号**　小売店舗の選択基準
ー第3回茨城県広域消費動向調査結果ー
- **5月号**　茨城県内の公示地価/茨城県土地利用基本計画
- **6月号**　正念場を迎える地域企業経営
- **7月号**　構造変化がすすむ県内小売業ーその実態と方向ー
- **8月号**　県内主要開発プロジェクトの動向
- **9月号**　低成長期に備える地域企業経営
- **10-11月号**　(10-11月号合併号)
特集・茨城県経済の概要　(付)市町村別資料集
- **12月号**　(1)これからの中小小売業の経営方策
(2)小売商業高度化事業事例研究

Pick up



8月号調査	県内主要開発プロジェクトの動向

第1次石油危機(1973年)に続く深刻な不況が長引く中、県内の大型開発プロジェクトの現況を改めて確認。総需要抑制の影響もあって大型開発プロジェクト自体は総じて遅延・停滞しているものの、そこに暮らす人口は着実に増加しており、生活の場としての街づくりや住民福祉の必要性が増していることを指摘した。

1976

昭和51年

世界の出来事

- アメリカでロッキード事件が発覚
- 南北ベトナム統一
- 中共・毛沢東主席死去、江青ら4人組逮捕

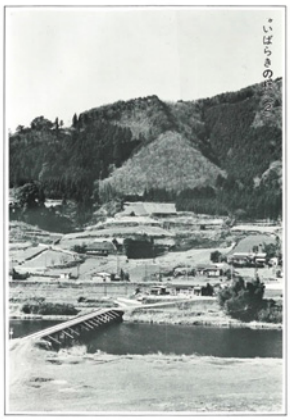
国内の出来事

- 大和運輸(現・ヤマト運輸)が「宅急便」サービス開始
- ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕
- ソ連・ミグ25戦闘機が函館空港に強行着陸(ソ空軍中尉亡命)

'76/1 ～ '76/12　　1989（平成元年）　　50th

「常磐自動車道流通施設研究会」を設け、その報告書を3号に分けて掲載。また、調査の無い号を出したり「現代大人の民話」と題する読み物の連載を始めたりといった誌面構成も試みられた。

1月号グラビア　鹿島神宮の森



2月号グラビア　奥久慈のスギ林

表紙を開くと右頁(表紙裏)に写真、左頁に目次と写真解説、という紙面構成に改め、通年企画「いばらきの杜」を掲載。県内各地の森・林(山林・平地林)・並木等の他、梨・栗・林檎といった果樹も採り上げられた。

茨城県内の出来事

トピックス	第27回全国植樹祭開催(大子町)

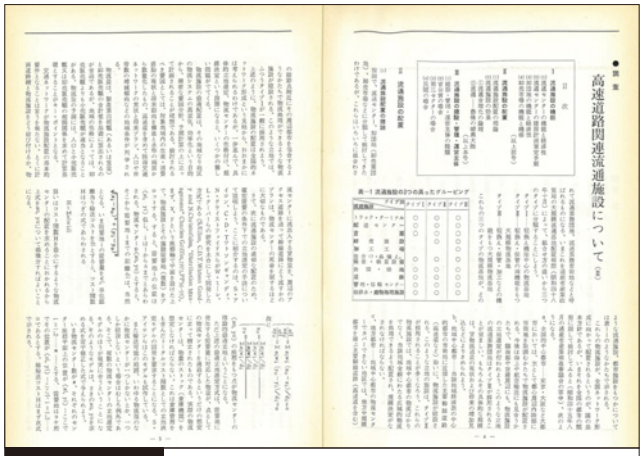
- 異常乾燥下、十王町で山林火災　雑木林等40ha焼く
- 百里裁判100回公判、裁判長審理打ち切り宣言
- 公営住宅の新機軸「タウンハウス」を提起した県営六番池団地竣工
- ミグ25移送問題(百里基地に搬入し機体調査)
- 筑波大学附属病院開院
- 水戸市人口20万人を超え、県下第1位に

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　県内主要企業賃金実態調査概要
  (付　最近の労働経済の動向)
- 2月号　マネジメントセミナー・流通セミナー
  (計6セミナーの講演要旨)
- 3月号　県内諸都市の都心性機能(施設)分布について
- 4月号　昭和51年度茨城県重要施策について
- 5月号　最近の茨城県内地価動向
- 6月号　高速道路関連流通施設について(Ⅰ)/
  茨城県中小工業の展開方向とその課題(Ⅰ)
- 7月号　高速道路関連流通施設について(Ⅱ)/
  茨城県中小工業の展開方向とその課題(Ⅱ)
- 8月号　高速道路関連流通施設について(Ⅲ)
- 9月号　中小小売店経営実態調査の概要
- 10月号　茨城県民福祉基本計画特集号
  展望/論説/座談会/解説
- 11月号　流通問題特集号　茨城の商圏
  ー第4回茨城県広域消費動向調査結果(速報)ー
- 12月号　51年茨城県経済の概要

Pick up



7月号調査　高速道路関連流通施設について(Ⅱ)

常磐自動車道の建設開始に伴い、沿線地域では大きな変化が予想された上、高速道路を使った物流の変化について関係各界の関心が高まったことから、当センターは「常磐自動車道流通施設研究会」を設け、流通施設の機能・配置・運営等について民間側から対応策を検討すべく調査研究し、報告書を取りまとめた。その要約を3号にわたり掲載。

1977

昭和52年

世界の出来事

- 先進漁業国が200海里漁業専管水域を設定
- エジプト大統領がイスラエル初訪問
- テネリフェの悲劇(史上最悪の航空事故)

国内の出来事

- 日本初の静止気象衛星「ひまわり」打ち上げ
- 巨人軍・王貞治、ホームラン世界新記録(通算756号)
- ダッカ日航機ハイジャック事件

'77/1 ～ '77/12　　1989（平成元年）　　50th

6月号調査では1975年8月号と同じ県内主要開発プロジェクトを対象にしてその状況を確認したが、それ以外の大半の調査は、県内個人・企業・業界の実態を把握した上で今後の発展・成長の方向を探るという構成で行われた。

1月号グラビア　鍬の祭

2月号グラビア　東金砂の田楽

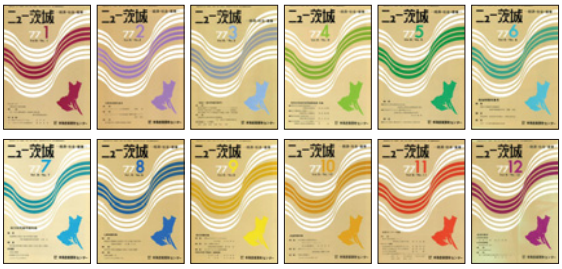
「茨城のまつり」と題する新企画を通年で掲載。県内各地に伝わり実際に行われている祭を、写真と説明文で紹介していくもの。尚、本企画から表紙裏・裏表紙裏のみカラー印刷化された。

茨城県内の出来事

トピックス	常磐自動車道起工式

- 取手駅前で内ゲバ殺人事件革マル派、犯行声明
- 18年に及んだ百里裁判、国が全面勝訴
- 動燃・大洗、日本初の高速炉「常陽」が初臨界達成
- ㈱伊勢甚本社が小売流通部門をジャスコ㈱へ事業譲渡
- 降雹被害(6月)大宮町、葉煙草170ha全滅
- 降雹被害(7月)鉾田町等8億円、加工用トマト全滅
- 県産業会館着工　茨城一のノッポビルに

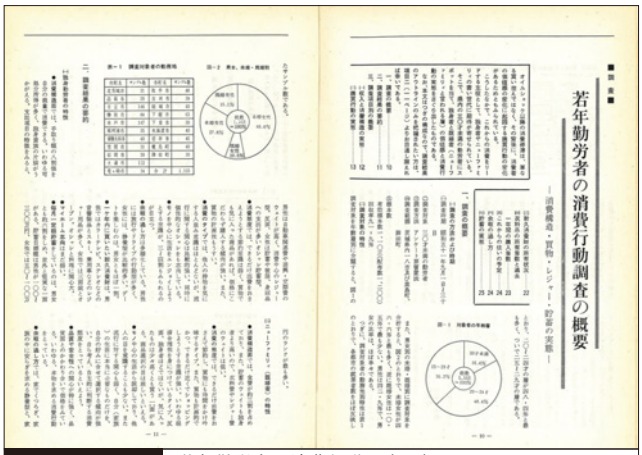
この年の表紙一覧



各号の調査テーマ

- **1月号**　52・3年の雇用動向 －茨城県主要企業雇用需要調査結果－
- **2月号**　若年勤労者の消費行動調査の概要 －消費構造・買物・レジャー・貯蓄の実態－
- **3月号**　茨城県主要企業賃金実態調査 (付・最近の労働経済動向)
- **4月号**　昭和52年度茨城県重要施策　特集
- **5月号**　県内小売業の構造変化と中核12都市の商業分析
- **6月号**　(1)鹿島開発(2)筑波研究学園都市(3)常磐自動車道
- **7月号**　県内食品卸売業の実態と経営の方向に関する調査
- **8月号**　40年代の本県工業構造の変化と今後の展望
- **9月号**　日立市における工業都市機能
- **10月号**　県内ボランタリー・チェーンの経営実態と今後の発展の方向
- **11月号**　マネジメントセミナー特集 (計3セミナーの講演要旨/パネルディスカッション)
- **12月号**　52年茨城県経済　新たな成長への模索

Pick up



2月号調査　若年勤労者の消費行動調査の概要 －消費構造・買物・レジャー・貯蓄の実態－

県内18市及び鹿島町・鉾田町に勤務する30歳未満の若者を対象にアンケート調査を行い、性別・既婚未婚別に集計して、標題の項目について独身者と既婚者(ニューファミリーと言われる層)の価値観と消費行動の実態を探り出すことを試みたもの。全18頁にわたる調査の全体が専らアンケート結果の整理と分析で構成されているのが特徴である。

1978

昭和53年

世界の出来事

- キャンプデービッド会談(中東和平)
- 日中平和友好条約調印
- 米宗教団体「人民寺院」918人集団自殺

国内の出来事

- 超高層ビル「サンシャイン60」開館(東京・池袋)
- 新東京国際空港(現成田国際空港)開港
- プロ野球、空白の1日(江川事件)

'78/1 ～ '78/12　　1989（平成元年）　　50th

創刊100号記念特集号として茨城県経済・産業の現況と展望を詳しく調査検討した他、当センターが開催してきた2研究会の活動成果を編集して2号続けて掲載する等、時間をかけて取り組んできた活動の成果を世に問うような調査が多かった。

1・2月号グラビア　西円山祈禱囃子

3月号クラビア　小栗の太々神楽

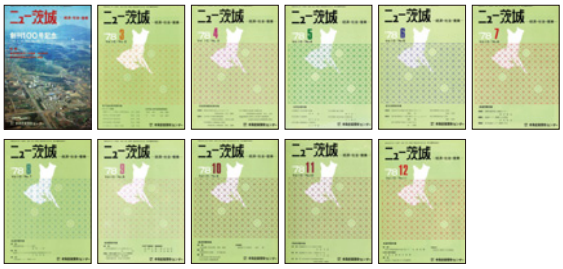
引き続き「茨城のまつり」を通年で掲載。毎号、実際に参加したり演じたりしている人の姿を中心に撮影した写真を用いており、この当時はまだ県内各地でこんなに色々な祭りが行われていたのだなと驚かされる。

茨城県内の出来事

トピックス	茨城県メディカルセンター開所

- 参院補選　自民・岩上二郎(前茨城県知事)圧勝
- 県赤十字血液センターで不祥事続出
- サントピア水戸　融資に目処つき半年遅れで開店
- 県内最大の暴走族「毘沙門天」グループ解散
- 動燃東海プルトニウム燃料加工工場で計7人の作業員、プルトニウム汚染
- 虎塚古墳装飾壁画一般公開

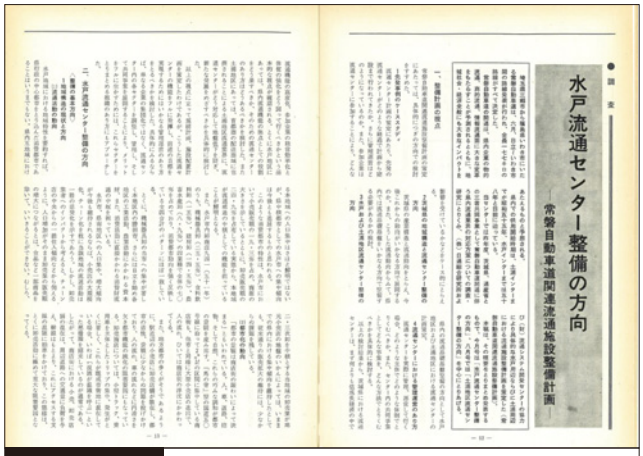
この年の表紙一覧



各号の調査テーマ

- 1-2月号　創刊100号記念特集号
- 3月号　専門店経営問題特集（専門店経営セミナー講演要旨5件）
- 4月号　地域商業に対する住民ニーズと地域商業の振興方向
- 5月号　特集・これからの共同店舗づくり
- 6月号　都市再開発特集
- 7月号　水戸流通センター整備の方向 ー常磐自動車道関連流通施設整備計画ー
- 8月号　土浦流通センターの整備の方向 ー常磐自動車道関連流通施設整備計画ー
- 9月号　県内主要プロジェクトの現況
- 10月号　(1)公共投資の県内波及効果 (2)公共投資と茨城県経済
- 11月号　第5回茨城県広域消費動向調査 ー昭和53年度「茨城の商圏」概要ー
- 12月号　低成長への適応急がれる茨城経済

Pick up



7月号調査　水戸流通センター整備の方向

常磐自動車道の県内供用開始を間近に控え、当センターは52年度に茨城県・通産省との3者共同事業として常磐自動車道開通に伴う県内流通業界の対応方策についての調査・研究に取り組み、具体的な水戸周辺並びに土浦周辺における流通施設整備計画を策定した。その概要を取りまとめ、7月号・8月号の2回に分けて発表したものである。

1979

昭和54年

世界の出来事

- アメリカと中華人民共和国が国交樹立
- イラン革命(国王亡命、ホメイニ師帰国)
- 米・スリーマイル島原発事故

国内の出来事

- 初の国公立大学共通一次試験実施
- 第2次石油危機
- 東京サミット(初めて日本で開催)

'79/1 ～ '79/12　　1989（平成元年）　　50th

当センター創立10周年・1970年代最後の年ということで、3月号を創立10周年記念号とした他、1980年代に向けての座談会・調査を計3回実施。また、年内に開催された流通セミナーや当センターが設置した2研究会での講演要旨を、複数号にわたり掲載した。

1月号グラビア　横山大観「流燈」

2月号グラビア　中村彝(つね)「静物『花』」

新企画「茨城の美術」を通年で掲載。茨城県に縁の深い芸術家の作品(絵画、彫刻等)を、茨城県立美術博物館(現在の茨城県近代美術館の前身)学芸員・藤本陽子氏の解説により紹介した。

茨城県内の出来事

トピックス	国際科学技術博覧会会場、筑波研究学園都市に決定

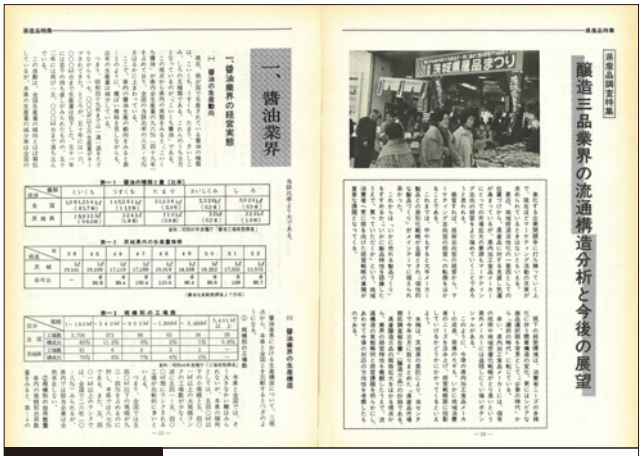
- 全国高校サッカー選手権大会で古河一高が初優勝
- 昭和53年県議会議員選挙で買収された筑波大生137人書類送検
- 取手消防署「覚醒剤汚染」注射打って救急活動
- 「県議会黒い霧裁判」で、被告16人に実刑判決
- 県知事選挙、竹内藤男再選
- 那珂湊市長リコール買収事件　被告14人全員有罪判決

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　経営問題特集　〈アンケート〉昭和54年の経営課題
- 2月号　流通セミナー特集(計4セミナーの講演要旨)
- 3月号　創立10周年記念号
  (座談会/特集「茨城経済とセンター活動10年の歩み」)
- 4月号　茨城県重要施策特集
  (インタビュー　部長にきく/解説　施策のポイント)
- 5月号　商店街活性化研究会特集　展望/講演要旨(6氏)
- 6月号　都市問題研究会報告　講演要旨(5氏)
- 7月号　醸造三品業界の流通構造分析と今後の展望
- 8月号　県内6都市にみる商店街近代化の動き
  水戸市/土浦市/古河市/石岡市/下館市/勝田市
- 9月号　地域開発特集　80年代発展の基礎となるプロジェクト
- 10月号　流通セミナー(計7セミナーの講演要旨)
- 11月号　茨城県産業会館特集
  (完成時入居19商工団体を個別に紹介)
- 12月号　昭和54年の茨城県経済
  80年代に期待される「産業の域内循環」

Pick up



7月号調査　醸造三品業界の流通構造分析と今後の展望

この年はセミナーや研究会でも「流通」が採り上げられることが多かったが、7月号調査は対象業界を醸造三品(醤油、味噌、清酒)に絞って流通構造の実態解明と経営課題を明らかにし、あわせて今後の対応の方向性を考察したものである(当センターが茨城県の委託により3月にとりまとめた「県産品市場開拓調査報告書」(醸造三品)の抄録)。

1980

昭和55年

世界の出来事

- 世界保健機関が天然痘の根絶宣言
- モスクワ五輪（日米等67か国ボイコット）
- イラン・イラク戦争勃発

国内の出来事

- ポール・マッカートニーが成田空港内で大麻所持現行犯逮捕
- 新宿バス放火事件
- 松田聖子デビュー、山口百恵引退

'80/1 ～ '80/12　　1989（平成元年）　　50th

1980年代に入ったことを意識し、研究員による自主調査に加え、アンケート・内外の調査結果・当センター受託調査の報告書・大学教授寄稿・セミナー講演録・座談会等、様々な方法により県内経済・社会・産業の姿を捉え検討を加えた。

1月号グラビア　小川芋銭「魚鳥と童子」

2月号グラビア　小川芋銭「狐隊行」

前年に続き、「茨城の美術」を通年で掲載。尚、本年1月号から、1頁目（表紙をめくって見開き左側）に「展望」（寄稿）を置き、目次と「茨城の美術」解説は2-3頁目の見開きに置く誌面構成に変更した。

茨城県内の出来事

トピックス	図書館情報大学開学

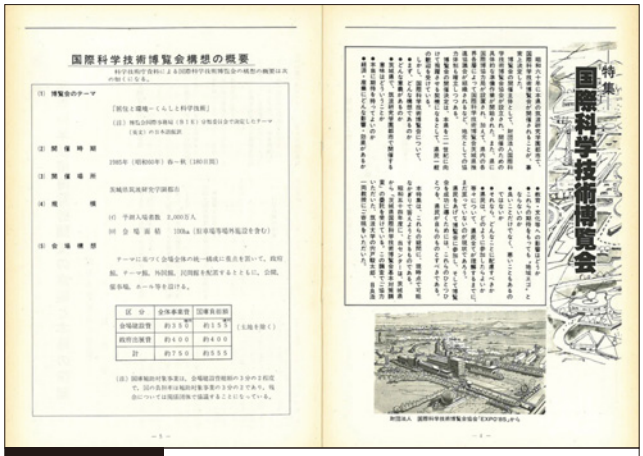
- 県、粉石鹸使用運動推進要綱制定
- 国際科学技術博覧会協会発足
- 水戸東急撤退、ユニー進出
- 県立母子の家開所
- 新大利根橋有料道路が完成
- 里美村に県内初の村営バス発足
- 国際科学博の会場、谷田部町に決定

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　経営問題特集
  〈アンケート〉80年代の経営課題－県内各界に聞く－
- 2月号　雇用・医療・老後に県民ニーズ
  －県民選好度調査より－
- 3月号　経営環境変化への柔軟な対応を
  －茨城県内主要企業経営動向調査－
- 4月号　働く人々の生活観と仕事観
  「茨城県勤労者の職業と生活に関する意識調査」から
- 5月号　昭和55年度茨城県重要施策特集
- 6月号　国際科学技術博覧会が地域に及ぼす経済効果
- 7月号　県産品市場開拓調査特集　建築関連4業界の流通構造分析と今後の展望
- 8月号　'80流通セミナー（計6セミナーの講演要旨）
- 9月号　〈座談会〉
  第2次茨城県民福祉基本計画の策定に携わって
- 10月号　特集・豊かな県土の土台をつくるプロジェクト
- 11月号　第6回茨城県広域消費動向調査
  －昭和55年度「茨城の商圏」概要－
- 12月号　昭和55年の茨城県経済・産業
  －自律的発展への基礎固めの時－

Pick up



6月号調査　国際科学技術博覧会が地域に及ぼす経済効果

5年後の1985年に筑波研究学園都市で国際科学技術博覧会が開かれることが決まったことを踏まえ、県民の理解に資するべく特集を組んだ。論説・調査には筑波大学社会工学系教授2氏から寄稿を受けた他、当センターが実施した10氏に対するインタビューによる「国際科学技術博覧会に対する意見」や、国際科学技術博覧会関係資料も併せて掲載した。

1981

昭和56年

世界の出来事

- スペースシャトル初打ち上げ
- アメリカでエイズ患者が初めて発見される
- イスラエルがイラク原子炉を爆撃

国内の出来事

- 中国残留日本人孤児47人が初めて正式に来日
- 神戸ポートアイランド博覧会
- ピンクレディー解散

'81/1 ～ '81/12　　1989（平成元年）　　50th

県内景気が年初の1～3月に底入れし緩やかに回復過程を辿ったと見られることに対応し、概ね年央以降の自主調査は、本県の地理的優位性や県内大型プロジェクトの効果に期待しつつも、慎重に現状把握分析・方向性や課題の提示を行うものになっている。

1月号グラビア	大洗海岸とカーフェリー就航	2月号グラビア	偕楽園と千波湖周辺整備構想

新企画「茨城新12景」を通年で掲載。単に「景色の良いところ」という選び方ではなく、現在の経済・社会・産業といった観点から何らかの話題や問題点がある先を選び、総じて前向きな論調で解説を加えている。

茨城県内の出来事

トピックス	石岡市鹿の子遺跡で1,200年前の漆紙文書が出土する

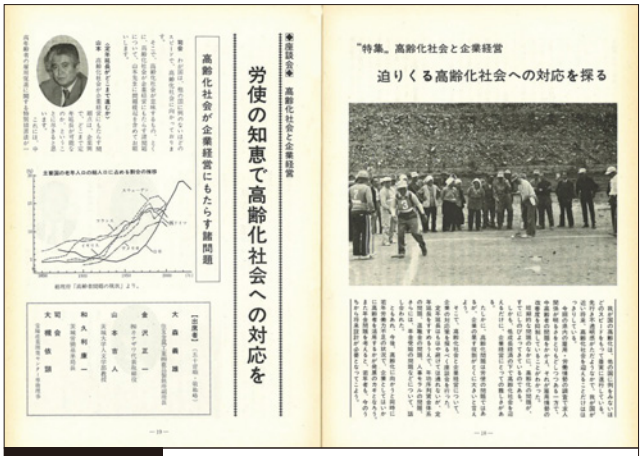
- 全国高校サッカー選手権大会で古河一高2度目の優勝
- 常磐自動車道の柏IC－谷田部IC開通
- 県植物園、那珂町に開園
- 筑波郡谷田部町議会、遺伝子組み換え実験施設（P4）建設反対を全員一致で決議
- 霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例案、県議会常任委で採択

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　〈年頭所感〉昭和56年の経営課題
- 2月号　茨城の地域・産業の特性－茨城は先進県か－
- 3月号　国際科学技術博覧会特集　対談/資料/解説/座談会
- 4月号　住宅建設回復への途
（1）住宅建設の動向（2）住宅関連業界への影響
- 5月号　昭和56年度茨城県重要施策
活力に満ちた潤いのある地域づくりを
- 6月号　茨城県における産業構造の展開方向
- 7月号　水戸西流通センター（仮称）の整備に関する基本方向
- 8月号　県内主要地場産業の経営実態と今後の課題
- 9月号　'81流通セミナー（計6セミナーの講演要旨）
- 10月号　地域の持つ優位性を拡大するプロジェクト
- 11月号　構造問題をかかえつつも改善に向かう労働市場
- 12月号　ニーズの多様化に対応した地域経済・産業戦略を

Pick up



11月号調査	構造問題をかかえつつも改善に向かう労働市場

11月号では、「"特集"高齢化社会と企業経営」として、座談会開催と併せ、高齢化社会への対応を正面から調査検討している。企業経営や労働市場と絡めているとはいえ、高齢化問題を主題として採り上げた調査はこれが初めてである。迫りくる高齢化社会への対応として、本調査では主に定年延長問題と対策について述べている。

1982

昭和57年

世界の出来事

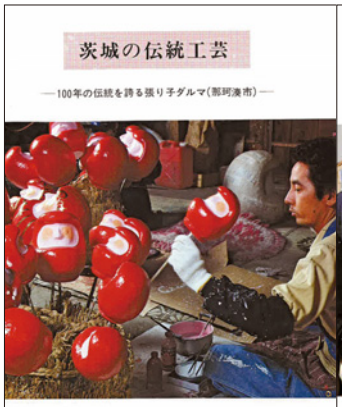
- フォークランド紛争(英・爾)
- ソニーが世界初のCDプレーヤー発売
- 9惑星による惑星直列現象(1,000年ぶり)

国内の出来事

- ホテル・ニュージャパン火災
- 日航機、羽田空港沖墜落(キャプテン、やめてください！)
- 東北(大宮～盛岡間)・上越(大宮～新潟間)新幹線開業

'82/1 ～ '82/12　　1989（平成元年）　　50th

前年までのしばらくの間はセミナー講演録・内外報告書の抄録・アンケート・座談会等の掲載が多かったが、本年は一変して各研究員の問題意識による単発の自主調査を毎月掲載。高付加価値農業・中小企業の先端技術活用・県際取引等、新しい切り口が見られた。



1月号グラビア　張り子ダルマ（那珂湊市）

2月号グラビア　西ノ内和紙（山方町）

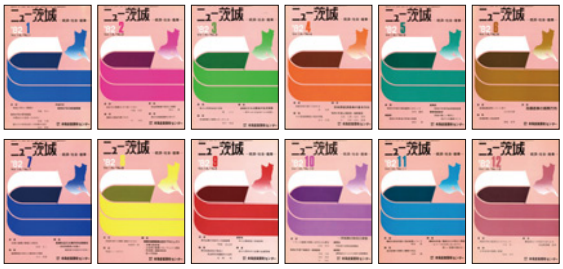
新企画「茨城の伝統工芸」を通年で掲載。伝統工芸品作成の作業風景をグラビアで紹介する他、別頁の解説文には別カットの小さな写真を添えている。那珂湊・山方・真壁・水海道・八郷・桂等、今は無き市町村名が時の流れを感じさせる。

茨城県内の出来事

トピックス	県武道館開館

- 常磐自動車道の谷田部IC－千代田石岡IC開通
- ミッテラン仏大統領、筑波研究学園都市を見学
- 谷田部町議会、P4施設建設推進を正式決定、反対住民抗議
- 霞ヶ浦富栄養化防止条例施行
- サッチャー英首相、筑波研究学園都市と東海村原子力施設見学

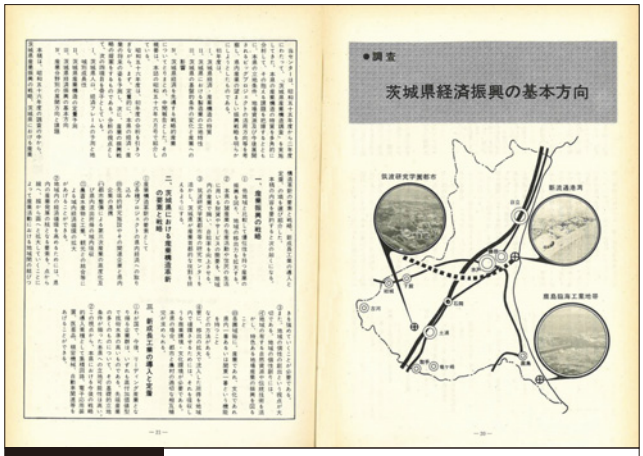
この年の表紙一覧



各号の調査テーマ

- 1月号　〈年頭所感〉昭和57年の経営課題
- 2月号　高付加価値農業を求めて
- 3月号　多様化する消費者の生活意識 －求められる生活からの発想－
- 4月号　茨城県経済振興の基本方向
- 5月号　昭和57年度茨城県重要施策　解説/部長座談会
- 6月号　地場産業の振興方向　県北地域編/県西地域編
- 7月号　転機を迎えた県内中心商業地 －駅前再開発の胎動と商店街の活性化の方向－
- 8月号　戦略的産業振興を促すプロジェクト
- 9月号　変わる県内中小企業の先端現場 ～先端技術の活用事例～
- 10月号　県際取引からみた本県の産業構造
- 11月号　農産物流通と農産加工の現況と課題
- 12月号　構造変化への対応が迫られる茨城県産業・経済

Pick up



4月号調査　茨城県経済振興の基本方向

当センターは昭和55～56年度にわたり「茨城県産業構造調査」を実施。55年度分調査の中間報告として56年6月号に「茨城県における産業構造の展開方向」を掲載したのに続き、本号では56年度調査の中から「茨城県産業振興の戦略」「茨城県における産業構造革新の要素と戦略」「新成長工業の導入と定着」の項目を選んで掲載した。

1983

昭和58年

世界の出来事

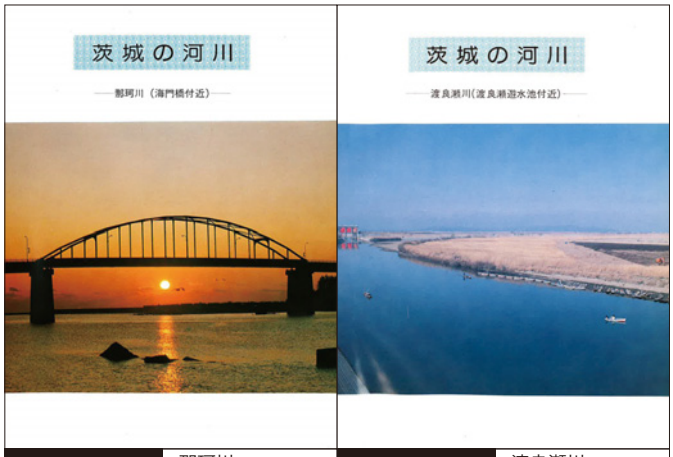
- インターネットが誕生
- 大韓航空機撃墜事件（サハリン上空）
- ラングーン事件（アウンサン廟爆破事件）

国内の出来事

- 東京ディズニーランド開園（米国外で初）
- 三宅島大噴火、島外疎開
- ロッキード事件公判、田中元首相に実刑判決

'83/1 ～ '83/12　　1989（平成元年）　　50th

茨城県は地域振興に寄与する多くの大型プロジェクトの進展により全国水準を凌ぐ経済活動の活発化が期待されているという認識から、常磐自動車道・科学万博・水戸対地射爆撃場跡地利用等の大型プロジェクトに関連する調査を実施、年内に4回掲載した。



1月号グラビア	那珂川（海門橋付近）	2月号グラビア	渡良瀬川（渡良瀬遊水地付近）

新企画「茨城の河川」を通年で掲載。1月の那珂川から12月の利根川まで、県民によく知られた河川を選び、写真に写っているものの説明だけではなく、地勢・歴史・経済及び産業等にも言及した解説文を付している。

茨城県内の出来事

トピックス	県知事選挙、竹内藤男3選

- 常磐大学設立認可
- ボケ老人家族の会、水戸市に発足
- 筑波研究学園都市の6町村合併、知事断念
- 筑波メディカルセンター起工式
- 常磐自動車道の谷田部IC－千代田石岡IC6車線化
- 布川事件（1967年に利根町で発生した強盗殺人事件）で服役中の元被告再審請求

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　〈年頭所感〉昭和58年の経営課題
- 2月号　細分化が強まる県内商圏 ～第7回商圏調査結果の概要～
- 3月号　常磐自動車道の部分開通に伴う地域の産業動向
- 4月号　科学万博は茨城の観光発展の契機となるか
- 5月号　主要施策と地域経済・地域の変化
- 6月号　地場産業の振興方向－県南鹿行地域編－
- 7月号　県北過疎地域における産業振興の方向
- 8月号　特集・地域間の連結性を強化するプロジェクト
- 9月号　都市の魅力と購買行動 －新たな商業活性化の方向を探る－
- 10月号　ビッグ・プロジェクトと中小企業経営 ～科学万博をモデルケースにして～
- 11月号　茨城県の農耕地はどのように変わったか
- 12月号　サービス化・ソフト化すすむ茨城経済 －58年の回顧と展望－

Pick up

4月号調査	科学万博は茨城の観光発展の契機となるか

科学万博開催を2年後に控えた調査。「茨城に入場予想客2,000万人が来る、観光発展は間違い無し」という論調ではなく「ことはそんなに甘くはない」、東京から見た茨城の観光の姿は「茨城は観光のイメージが弱い」「受入体制に問題あり」と指摘。都内の大手観光業者から冷静な指摘を受けた後、県内観光関係者の声を広く収集することにより、茨城の観光のあり方を探った。

1984

昭和59年

世界の出来事

- 印首相インディラ・ガンジー暗殺
- 印・ボパール化学工場事故(約2万人死亡)
- 英・中、香港返還合意文書に調印

国内の出来事

- 江崎グリコ社長誘拐事件、江崎グリコ脅迫事件
- 森永製菓脅迫事件(「かい人21面相」)
- 新語・流行語大賞〈流行語〉「まるきん まるび」

50th

'84/1 ～ '84/12　1989（平成元年）

調査の主題に「メカトロニクス」「技術革新」「高度情報（化）」といった用語が登場するようになった他、流通セミナーでも「ニューメディア」「流通VAN」「テレトピア構想」が演題になる等、科学万博を翌年に控えた世の中の空気が感じられる調査が目立った。

1月号グラビア	水戸駅	2月号グラビア	土浦駅

新企画「変わりゆく駅周辺」を通年で掲載。単に駅舎そのものを紹介するのではなく、県内の主要駅を周辺の景色と共に撮影し、鉄道駅としての歴史や現状、今後の発展見通し等を丁寧に説明している。

茨城県内の出来事

トピックス	大洗港に大洗ターミナル設立

- 東京芸大の取手キャンパス決定
- 常磐自動車道の千代田石岡IC－那珂IC開通
- ロス五輪レスリング富山(茨城町出身)金メダル
- 取手二高、夏の高校野球優勝
- 大相撲・多賀竜(日立市出身)、秋場所平幕優勝
- 水戸済生会総合病院竣工式
- 関東鉄道常総線取手－水海道間複線化完成
- 常磐自動車道の柏IC－谷田部IC6車線化

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　〈年頭所感〉昭和59年の経営課題
- 2月号　－中小企業経営と異業種交流－
中小企業の活性化促す異業種交流
- 3月号　－中小企業経営と設備投資－
設備投資で効率経営、競争力強化
- 4月号　メカトロニクス革新と企業経営
～メカトロ導入は生産現場・労働をどう変えるか～
- 5月号　59年度茨城県主要施策と産業・経済の活性化
- 6月号　ゆとりと活力ある地域づくりをめざして
－「県民選好度調査」から－
- 7月号　地方卸売業と地域間競争
- 8月号　〈座談会〉環境変化と企業経営
- 9月号　技術革新と農業、革新的農業経営
～企業家精神で技術革新の成果を導入～
- 10月号　躍進する茨城を支えるプロジェクト
- 11月号　高度情報社会と流通業
（流通セミナー計3回の講演要旨）
- 12月号　成熟化すすむ茨城経済
～成長を促す技術革新に拡がりも～

Pick up

4月号調査	メカトロニクス革新と企業経営 ～メカトロ導入は生産現場・労働をどう変えるか～

展望・論説といった寄稿部分を含め、4月号の主要記事にはメカトロニクス(メカトロ)という文字が頻出。しかしいずれも、それが企業経営や生産現場・労働にどのような影響を及ぼし我々はどう対処するかという、新しいものが否応無しに入ってくることに対する人間側の警戒・懸念が色濃く滲む論調になっているのが特徴的であった。

1985

昭和60年

世界の出来事

- メキシコ地震(メキシコシティ付近大被害)
- プラザ合意(米ドル暴落、円急騰)
- 米大統領とソ書記長が初会談

国内の出来事

- 国際科学技術博覧会(科学万博–つくば'85)
- 日航ジャンボ機(123便)御巣鷹山墜落事故
- 新語・流行語大賞〈流行語〉「イッキ！ イッキ！」

'85/1 ～ '85/12

1989（平成元年）

50th

これまでの県内大型開発プロジェクトを巡る議論は「科学万博開催の年」「昭和60年代」を見通したものが多かったが、実際に昭和60年代に入り科学万博が開催されると、一転して21世紀に向けての議論が盛んになった（5月号調査等）。

2月号グラビア　下館駅

3月号グラビア　万博中央駅

前年から続いた企画「変わりゆく駅周辺」は、3月号の万博中央駅で終了。4月号からは表紙デザイン・誌面構成を刷新し、グラビア頁を廃する代わりに表紙にグラビア的写真を載せ、目次頁で簡単な解説を付す形とした。

茨城県内の出来事

トピックス	鹿島臨海鉄道大洗鹿島線が開通する

- 常磐自動車道と首都高速6号三郷線が接続
- 常磐自動車道の那珂IC－日立南太田IC開通
- 八郷町に茨城県フラワーパーク開園
- 原研那珂研究所で核融合臨界プラズマ試験装置「JT-60」の完成式
- 常磐自動車道の日立南太田IC－日立北IC開通
- 筑波研究学園都市にP4施設完成
- 日立市、テレトピア構想地域に指定

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　〈年頭所感〉昭和60年代の経営課題と戦略
- 2月号　技術革新の進展と産業・企業の対応
- 3月号　土地区画整理事業の先進事例
- 4月号　広がりをみせる通信販売・訪問販売
- 5月号　21世紀へ動き出した茨城県 －プロジェクトの総合力で広域的展開を図る－
- 6月号　進出企業のニーズは何か －「企業の立地行動に関する調査」結果概要－
- 7月号　地域における国際化とは－茨城の国際化を探る－
- 8月号　快適な生活環境づくりを考える
- 9月号　未来ある商店街づくりを求めて
- 10月号　奥常陸・地域学習ルートの提案 ～地域振興を支える人的資源の育成・強化のために～
- 11月号　科学技術と人間について　対談/インタビュー
- 12月号　60年の茨城県産業・経済の回顧と展望

Pick up

10月号調査　奥常陸・地域学習ルートの提案 ～地域振興を支える人的資源の育成・強化のために～

水戸以北の県北山間地域を、歴史性を織り込んだイメージとして「奥常陸」と称し、その地域振興を支える人的資源の育成を目指した地域学習を推進することを目的に、当時の25市町村・33か所の学習拠点を巡る学習ルートを設定・提案したもの。域外の人にとっては観光ルートになることも想定しつつ、学習の仕方の例まで示した意欲的な取り組みであった。

1986

昭和61年

世界の出来事

- 米・スペースシャトル爆発事故
- ソ連・チェルノブイリ原発事故
- イラン・コントラ事件発覚

国内の出来事

- 英皇太子夫妻来日（ダイアナ・フィーバー）
- 伊豆大島三原山大噴火、全島民に避難命令
- 新語・流行語大賞〈流行語〉「新人類」

'86/1 ～ '86/12

50th

1989（平成元年）

過去の大型開発プロジェクトにより建設された、例えば筑波研究学園都市や常磐自動車道・鹿島臨海工業地帯・県内重要港湾等による発展だけではなく、それらが周辺地域・産業に及ぼした様々な影響も把握しようとする調査が多く行われた。

4月号グラビア　農業シリーズ①　10月号グラビア　企業・生産活動①

表紙写真の題材は、3月号までは特にテーマは設定されていなかったが、4～9月号表紙は「農業シリーズ」として計6回、10～12月号表紙は「企業・生産活動」として計3回掲載。簡単な写真解説は、引き続き目次頁にて。

茨城県内の出来事

トピックス	県内各地に豪雨、那珂川・小貝川が氾濫し大被害

- 楮川ダム・楮川浄水場（上水道専用、水戸市）完成
- 県内初の農住組合設立（取手市井野）
- 百里基地の迎撃戦闘機F15Jが緊急発進時に空対空ミサイルを誤発射
- 千代田村で収入役と助役選任を巡る贈収賄事件が発覚
- ソ連漁船が日立港に寄港（11月2隻、12月2隻）
- 県議選で27年ぶりに女性議員（桜井よう子）誕生

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　〈年頭所感〉昭和61年の経営課題と経営戦略
- 2月号　広域化・分散化する消費者の買物行動にどう対応する
- 3月号　県内企業の人材確保と人材開発の実態を探る
- 4月号　筑波研究学園都市の発展と茨城県経済の展望 ～とくに10年後の代替的シナリオ～
- 5月号　茨城県の経済変動と「茨城県景気動向指数」
- 6月号　創刊200号記念特集・「茨城県の地域情報化」を考える
- 7月号　県内における商業新勢力の動向 ～成長する小売業態の戦略を探る～
- 8月号　常磐自動車道の開通と地域・産業の変化 ～常磐自動車道のインパクトを検証する～
- 9月号　農業環境の変化と組織的な対応 ～集団化で産業としての農業の基盤をつくる～
- 10月号　産業構造の変化と地域工業 ―県北、鹿島地区の工業と原子力産業―
- 11月号　茨城の港湾～今、世界へ向けてスタート～
- 12月号　円高への対応が進む茨城県経済 ―61年の茨城県経済の回顧―

Pick up

7月号調査　県内における商業新勢力の動向 ～成長する小売業態の戦略を探る～

これまで当センターの調査では、商業といえば既存商店（街）に関する問題を扱うことが多かったが、本号では県内の「コンビニエンス・ストア」「多店舗展開する専門店」「生協」に焦点を当ててその経営方針・システム等を紹介すると共に、これら新勢力の台頭を受けて、既存商店（街）は真剣に生き残り策を検討しなければならないと論じている。

1987

昭和62年

世界の出来事

- 世界の人口が50億人突破
- ブラックマンデー（世界の株式市場大暴落）
- 大韓航空機爆破事件（北朝鮮・金賢姫）

国内の出来事

- 国鉄分割民営化、JRグループ発足
- NTT株式上場（初値160万円）
- 新語・流行語大賞〈流行語〉「懲りない○○」

'87/1 ～ '87/12

50th

1989（平成元年）

世の中が長かった円高不況から景気回復に向かう中、調査も「女性の社会進出」「若者の消費行動」を探る他、円高・国際化・交通及び情報通信ネットワークの進展等をキーワードにする等、社会・経済の新しい動きを捉えようとする調査が多く行われた。

1月号グラビア　企業・生産活動④

4月号グラビア　街並み景観①

表紙写真でシリーズ物を構成。1～3月号は前年に続き「企業生産活動④～⑥」、4～12月号は新たに「街並み景観①～⑨」とした。1月号写真は水戸駅ビル・エクセル内婦人服店、4月号写真はつくばセンタービル広場。

茨城県内の出来事

トピックス	霞ヶ浦大橋開通、東関東自動車道の佐原香取-潮来間開通

- 筑波鉄道（土浦駅－岩瀬駅）廃止
- 知事選で竹内藤男4選
- 高校野球で初陣常総学院が準優勝
- 原研那珂研究所の臨界プラズマ試験装置JT-60が臨界プラズマの条件達成
- 桜、豊里、谷田部、大穂の4町村合併しつくば市誕生
- P4施設で国内初の遺伝子組み換え実験始まる

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　〈年頭所感〉県内経済人 昭和62年の経営課題と経営戦略
- 2月号　県内における女性の社会進出を探る
- 3月号　中小都市ネットワークの変化と都市活性化の方向（実態編）
- 4月号　筑波研究学園都市の変貌 ～頭脳都市への期待・科学技術交流の現況と課題～
- 5月号　交通・情報通信ネットワークの進展と地域の課題
- 6月号　茨城県92市町村の経済力・成長力
- 7月号　商業立地外延化の波動 ～県内における郊外商業ゾーンの現状を探る～
- 8月号　円高と技術革新が進むなかでの雇用
- 9月号　若者の消費行動及び生活に関する意識調査 ～若者の消費行動の特色を探る～
- 10月号　国際化時代における中小企業の経営戦略 ～県内中小製造業の実態を探る～
- 11月号　新しい住宅需要の動向と今後の住宅供給に向けて
- 12月号　構造転換進む茨城県経済－62年県内経済の回顧－

Pick up

2月号調査　県内における女性の社会進出を探る

女性の社会進出・女性活躍を正面から採り上げた初の自主調査。「男性社会といわれる企業に勤務する女性」に焦点を絞って調査検討している。地の文において「通常、ほとんどの女性は（略）結婚や出産を契機に家庭に入る」「女性達も（略）甘えられなくなるという意味で、変容していかねばならないのだろうが」等、現在なら社会的に許容されないであろう記述が散見される。

1988

昭和63年

世界の出来事

- ソ連、ペレストロイカ（再構築）開始
- ソ連軍がアフガニスタンから撤退開始
- イラン・イラク戦争停戦が正式に成立

国内の出来事

- 青函トンネル・瀬戸大橋開通（4島が陸路で一つに結ばれる）
- 東証平均株価が初の3万円大台乗せ
- 新語・流行語大賞〈流行語〉「今宵はここまでに（いたしとうございまする）」

'88/1 ～ '88/12

50th

1989（平成元年）

後から振り返って「バブル時代」と言われる時期のちょうど中間の年であり、自主調査の主題も都市（再）開発・街づくり・地域おこし・リゾート開発、といったものが多く選ばれた。一方で、農村集落の実態調査等、地道な調査も並行して行われた。

1月号グラビア　街並み景観⑩

4月号グラビア　あそび・今・いばらき①

前年に続き、表紙写真でシリーズ物を構成。1～3月号は「街並み景観⑩～⑫」、4～12月号は新たに「あそび・今・いばらき①～⑨」とした。1月号写真は水戸本町ハミングロード513、4月号写真は常陽藝文センターのジャズダンス教室。

茨城県内の出来事

トピックス	常磐自動車道（三郷市－いわき市）が全線開通する

- 常磐自動車道の日立北IC－いわき中央IC開通
- 第三セクター真岡鐵道開業（下館駅－茂木駅）
- 「P4」DNA実験差し止め訴訟
- JR水戸線の玉戸駅・大和駅開業
- ソウル五輪レスリング小林孝至（牛久市出身）金メダル
- 県近代美術館開館
- 本県最後の「電気の無い家」（里美村小妻）に電灯灯る

この年の表紙一覧

各号の調査テーマ

- 1月号　〈年頭所感〉昭和63年の経営課題と戦略
- 2月号　茨城県の新しい都市づくり ～茨城県における都市開発の動向～
- 3月号　県南西部における農村集落の実態 Ⅰ　調査研究の目的と内容　Ⅱ　農村集落の実態
- 4月号　遊びと街と企業経営 ～水戸市におけるひとつの遊び像を探る～
- 5月号　茨城県卸売業の情報システム化 ～地域情報ネットワークの整備に向けて～
- 6月号　水戸・南町コミュニティ・マート構想モデル事業と街づくり
- 7月号　東京圏の拡大と茨城県の役割
- 8月号　地元中小企業の技術振興
- 9月号　21世紀に向けて市町村のめざすもの
- 10月号　茨城のもつ地域資源とリゾート開発
- 11月号　労働力需給のミスマッチと人材確保・能力開発
- 12月号　新しい流れの中の県内経済

Pick up

4月号調査　遊びと街と企業経営 ～水戸市におけるひとつの遊び像を探る～

所謂バブル時代の真ん中にあって、当センターは茨城大学助教授（当時）を座長とする「『あそび』研究会」を設立。アンケート調査・インタビュー・座談会を行って、水戸市における「遊び像」を探る他、表紙にレオタード姿の若い女性を大きく写した写真を配する等、かなり斬新な取り組みであった。